

日本エム・イー学会平成15年度第3回理事会議事録

日時：平成15年10月20日（月） 12:00～13:00

会場：けいはんなプラザ 会議室

<出席者>

会 長：上野照剛

副会長：赤澤堅造、安藤譲二

理 事：石原 謙、岡田正彦、荻野和郎、梶谷文彦、菊地 眞、北畠 顕、佐藤俊輔、佐藤正明、砂川賢二
辻岡克彦、福井康裕、山越憲一、山本克之

監 事：千田彰一、星宮 望

特別委員長：稲田 紘（ME技術教育）、楠岡英雄（BME）

大会長：千原國宏（第17回秋季）

支部長：寺本 滋（中国・四国）、米澤道義（甲信越）

幹 事：岩坂正和

事務局：高柳 建

<欠席者>

理 事：神谷 暁、林紘三郎、堀 正二

特別委員長：小野哲章（CE）

支部長：栗城眞也（北海道）、佐々木和男（北陸）、飛松省三（九州）、山内一信（東海）

幹 事：伊良皆啓治

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成15年度第3回理事会議事録（15-3-2）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され、これらについて全件を承認した。この結果、正会員3名増で2,744名、準会員2名減で391名、維持会員の数は増減なしで31社45口、顧問は2名減で19名、名誉会員は4名増で34名となった。
4. シドニーにおける本年8月の国際ME学会において菊地 眞理事が次期国際ME学会大会長に選出されたことが述べられた。
5. 第17回日本エム・イー学会秋季大会大会長の千原先生から大会初日午前中の状況が説明され、既に学生40名の登録がなされているなどの報告がなされた。大会は IEEE Asia-Pacific 他、2つの学会との同時開催であるが、盛況な開始の様相であることが述べられた。
6. 本年5月の第42回大会の事業清算報告が北畠大会長から資料15-3-10をもとになされた。決算金額は28,196,320円であり、約800人の有料参加や道都などからの助成金で無事盛況ものと終了し清算されたことが報告された。
7. 第43回大会の準備状況が山越大会長から報告され、市民公開講座やEnglishセッション（田村俊世先生オーガナイザー）、日韓シンポジウム（稲田 紘先生オーガナイザー）の企画があることや、学会会告で第2報を宣伝していること、講演募集に際して応募分類表を指示して応募することなどが説明された。
8. 第18回秋季大会の準備状況の報告が石原理事からなされ、開催時期は11月5日、6日を予定しているが未定であること、2004年夏～秋に北海道で開催予定の生体医工学シンポジウムと時期をはなすように工夫する、場所に関しては道後温泉の近くを予定していることなどが述べられた。
9. 辻岡理事から専門別研究会の規定変更について資料15-3-4に基づき説明がなされた。研究会の性格によって短期集中型と長期持続型があることを認識すること、補助金額の決定に際して研究会開始年度の活動状況を考慮し次年度に反映させることなどが提案された。本件は承認されたが、規定文章を正式に作成し次回理事会に提出することとなった。
10. 平成15年度選挙管理委員および選挙実施スケジュールについて辻岡克彦理事から提案がなされ承認された（15-3-5）。
11. 平成15年度選奨委員会の各委員会構成と委員が安藤譲二理事から提案され承認された（15-3-6）。
12. 第25回第2種ME技術実力検定試験の実施結果が稲田ME技術教育特別委員長から報告された（15-3-7）。報告された試験合格者（案）が理事会で認められた。ME技術実力検定について、過去の合格者から名称が少々長い経歴アピールに使用しづらいとの意見があるとのことから、（第1種・第2種）ME技術実力検定を（第1種・第2種）ME技術者と短く名称変更したいと提案され認められた。なお、第2種試験は25回を迎え、合格者を対象としたアフターフォローを兼ねた記念のイベントを行いたいとの案がだされた。なお、試験経費からの財源流用をビジブルなカタチで透明に示してほしい、との要望も稲田先生からだされたため、荻野経費理事が次回の理事会（12月19日）で報告することとなった。
13. 学会名称変更の件について（15-3-8）、山越憲一理事（学会名称検討委員長）から説明がなされた。今回の秋季大会の臨時総会ではかるのは、改称の第一候補として「日本生体医工学会」を選択することであ

り、正式な決議は2004年春の総会ではかる。また、定款について古い内容が多いと文科省から指摘を受けたため変更作業が必要となることなどが述べられた。

14. 支部報告：

赤澤堅造理事（関西支部長）から、生体医工学シンポジウム2003が盛況に終了し今年12月の生体医工学特集号に掲載の参加者論文を査読中であることが報告された。シンポジウム2004も開催することが提案され了承された。上野照剛会長より、シンポジウムをサマースクールとうまくリンクさせたいというコメントが出された。佐藤俊輔理事から追加資料「2004年度生体医工学サマースクール開催提案書」に基づき、サマースクールは2002年に開催したが、2003は中止した。可能ならば2004年以降、継続的にやりたいと提案がなされた。また、2004年は再び富山で行う予定であり、学会から20万ほどの補助を頂きたいという提案もなされた。今後、生体医工学サマースクール、生体医工学シンポジウム、エム・イー学会秋季大会をうまく連動させて開催することが必要であることで同意がなされた。

15. 上野照剛会長から来年1月に東京大学山上会館で開催予定のMEフォーラム2004の開催準備状況の説明がなされた。

(配布資料)

15-3-1	平成15年度第3回理事会議題
15-3-2	平成15年度第2回理事会議事録（案）
15-3-4	専門別研究会規定の変更（案）
15-3-5	平成15年度選挙管理委員（案）並びに選挙実施スケジュール（案）
15-3-6	平成15年度選奨委員会（名簿（案））
15-3-7	第25回第2種ME技術実力検定試験報告書
15-3-8	社団法人日本エム・イー学会 臨時総会資料
15-3-10	事業清算書 第42回日本エム・イー学会大会開催事業
15-3-12	第43回日本エム・イー学会大会準備状況
15-3-14	平成15年度理事会日程決定のお知らせ

追加資料

2004年 第18回 日本エム・イー学会秋季大会のお知らせ

2004年度 生体医工学サマースクール開催提案書

第17回日本エム・イー学会秋季大会プログラム

第25回第2種ME技術実力検定試験筆記試験問題 午前の部・午後の部